

土藏中の足跡

噂を生んで 恐怖のウツ巻

鍋嘉酒店の盗賊 未だ縛に就かず

平町目抜き街の街たる大通り二丁目の鍋嘉酒店の土藏を破つて筆筒三竿と長持二個を荒して衣類七十二點價格二千餘圓を窃取した奇怪な大盗難事件が六日の午前一時頃突発した事は既記の如くであるがこの事件が旋風の如く全町民の耳を襲つた時噂は噂を生んで不安の暗黒気分は各所に大きい渦巻を起した

「大時代物」そのまゝの土藏破りの大盗難事件のあつたその夜は同じ二丁目の仙臺屋と紙店とが婚禮の祝賀宴一夜を徹しての騒ぎがありしかもそれが何れも近所であると共に、その土藏は藝妓家街たる新田町と接してゐて屋根傳えでなければ容易に盗賊が入れない場所であり、そこを午前一時頃大膽不敵にも一歩誤れば袋の中の鼠となる土藏内に侵入したのだからどうしても有りふれた盗賊の仕業ではない、事はたしかである、それに不思議なのは被害者の家人が賊の何物かに觸れた物音に目を覺まして飛び起きた時には既に一味の姿は影だも止めなかつた素早さであつた

小田炭礦の總罷業が解決して非常召集を解かれてゐた遠方の巡査はその夜は幸ひに警察署内に寝てゐた時ならぬ急報に緊張した警官は時を移さず網羅に張つた和服のなかに剣を忍ばせた巡査が踏切りの要所を曉まで嚴重に固めてゐた姿は物凄く感を抱かしたと言ふ事である、この謎の大盗難事件の結果は非常に興味

蠶絲改善 映畫

石城郡養蠶同業組合では町村支部の希望により十二月に蠶絲改善の活動寫眞會を開催の筈であるが期日決定により郡内二三ヶ所に催す方針である

風邪の人へ

降雨の恵み
火防にも好影響を
連日空つ風に乾き切つて時節柄火災の憂ひのある處へ咽喉を痛める人が續出し何れもおしめりが欲しいと思つてゐた矢先七日夜から八日へかけての降雨は三三三合と云ふ雨量で気温も六十度迄に昇り火防衛生の兩方面から觀て非常に好影響を齎した(八日農試石城分場觀測)

奉安庫竣工式

石城郡平窪村小學校にては來る頭も日毎に暮れ氣分が濃厚となり客の眼を引く物が多くなつて來たのでボーナスの日を指折り數へて店頭の品に見入る者さてはそれを當込みに早くも帳面で買ひ入れる者等様々の歳末劇が段々多くなつて來た



着心地よい肌着 欄庭家

ハタじゆばんはエリ肩明を着物より二分少く致します仕立て直してお召しにならぬ方は、前丈を繰越す寸法の二倍丈長く裁ち切つて

平町區長會議

平町は昨日午前十時より區長會議を開き土地賃賃價格修正の件及び夜警費負擔額の件を協議した

湯の嶽が 綿帽子を冠る

寒氣一時に増す
平町は昨日夕方頃から風止むと同時に強風吹き荒み各區の火防組合は夫々火の用心に努めたが夜間多少の降雪あり寒氣一時に厳しくなつて湯の嶽山上には白雪が積つた

土橋を修繕し 道路に土盛り

石城郡小川郷前私設火防組にては去る七日組員廿二名出動し村内の破損した土橋を修繕し道路の土盛りを行つた

入營兵出發 九日の時間

平町より來年一月十日東京仙台、若松の各部隊に入營置きますと、出來上りの丈が前後とも同じになります身八つ口は三寸五分明け、脇縫ひをスンは馬乗りを三寸明けます、婚禮等の時はハタじゆばんは脇縫ひを縫はずに長さ一寸五分位のひもで前後の幅を二ヶ所つなぎ合せて置きますと、自由に格好よく着ることができ

不平受付

投稿歓迎
自動車脚筒の運轉 毎日自動車ポンプを練習して居られる様ですが仲には今迄に消防手の任命を受けながら一度も出た事がない様な人も練習して居る模様ですそれを默許する事は不和を起す元ですから今まで消防に盡して來た熱心な人々に練習させる事が當然だと思ひます (不平生)

小名賭博捕る

石城郡小名濱町小野新七方にて同人及び椎名トメ若松惣吉の三名が花合賭博開帳中瀬戸駐在巡查に捕はれ平署に引致取調中

農産品評會

訓盲院に決定
既報平町外飯野、夏井、神谷、平窪、好間の各村及び湯本町聯合の稻増收品評會及び農産物品評會は十八日より三日間平町にて開催すべき豫定にて會場は未だ決定して居なかつたが昨日訓盲院にて開くべく決した由

七濱が活氣

船主が蘇生
本縣秋刀魚漁は去月末日を以て全部終了を告げたが本年の秋刀魚漁は近年稀な豊漁で漁獲高は一隻最低と雖も七千圓を下らず中には一萬圓を突破するものあり平均八千圓で縣下漁船四十八隻の總漁獲高は實に四十萬圓を突破し一時鯉漁の不漁から明年度の着業を危まれたものさへある本縣各濱共之が爲め幾分その間を緩和され昨今頃活氣を呈して來た模様である然して本月から更に底引網及び鮪の漁

歳末劇が 段々多くなる

師走もようやく半ば近くなつたので平町の街頭も商店の色旗で賑はひ出し店内

鹽の數量

石城郡鹽元賣捌所に於ける本年六月以降去月末日までの賣捌高を聞くに總計三萬二千六百六十七俵百六十三萬三千三百五十五斤と云ふ驚くべき數に達してゐる而して之が一ヶ月平均を見るに六千五百三十三俵、三十二

平町外七町村 農産品評會

最高一石二斗また畑は金納で七八圓から最高廿圓の程度であるまた平町の宅地調査は昨報の如く昨日から着手十二日迄に終了の見込である

日刊 印刷 編輯 人 川崎 文治 本社 同 香地（電話六三〇番） 印刷所 常盤 毎日印刷所

常盤 毎日新聞

定部金貳圓 廣五號十二 休日 日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三五番 發行所 常盤 毎日新聞社 電話六三〇番

刊夕日十月二十

現内閣の正體 (二)

代議士 砂田重政

當時私は斯様な問題は、大坂市の輿論となつて、現在地が風教上に害がある云ふので何うも之を移轉しなければならぬと云ふた時に初めて決定すべきものである。先づ以て市長、市會或は都市計畫委員で決定する等、公共機關が決定するに非ざれば判断すべきものではない、個々の運動者などが来て運動したからと云ふて、決して之を許してはならないと云ふ事を中川知事に申したのであります、私の

承知して居るのは此の以外に何物もありません（中略）斯う云つて府知事に訓示いたしました、知事は堅く之を守つて何人が如何に云つても許さなかつた、たゞ事實は之だけであります。而して官邊に於て之に關係して居る者があつたと云はれるが、是は以ての外でありません。官邊に於ては關係して居るものはないのであります（中略）又其の節川崎内務次官も關係して居たと云ふ事でありましたが、左様な事はない全く虚構の事實であるのであります。

之が第五十一議會に於ける若槻首相及び俵内務次官の聲明であつて、箕浦勝人が詐欺取財の醜名を負ふに至つた理由は實に此の政府聲明の精神に基くものである。即ち其の後取調の進行につれ箕浦氏が數萬圓の金を關係者から取つた事は一點動かすべからざる事實となつて來た。其處で此の金の内容について考慮するに政府が反對の聲明をして居るに拘はらず、箕浦氏は初めから政府より遊廓地移轉許可の諒解を得たもの、如く欺罔して、關係者から收受した金であると云ふ事が詐欺罪を立派に構成するといふ理由となつたのである（つづく）

美術表具

玉成堂

平町二丁目 平銀行裏川岸通り

平町紺屋町（縣社通り）

美味 評判 **イロキ食堂**

オの部電話四六〇番

外科

赤心堂病院

田町 電話四七五番

外科一般 耳鼻咽喉科 女性病科 ×光線科

見よ懸賞映畫

十二月十日替り

血腥き京らくの天地に出沒する不知火そは何者？ 奇怪幕末大亂戰史

快 **不知火** 二十卷

不知火の本名不知火にふんする俳優名正解者にキング雑誌一冊入場券を六等級に順じて進呈、住所名記有聲座懸賞映畫係宛

月形龍之助 マキノ輝子主演 復讐時代映畫

文明の仇討 十卷

マキノブロードクシヨソ作品 學生ローマンス

氣愛 **卒業** と **青春** 七卷

帝キネ 直營 **有聲座**

泌尿婦人科皮梅毒科

外科 阿部醫院

平町字新川町電話六一五番

平町紺屋町 吉田眼科醫院

南部鐵瓶

本場 南部鐵瓶

七圓マデ 日掛 十錢ツ、 十五圓マデ 同 廿錢ツ、

月賦販賣モ致シマス

平町南町二九

南部屋鐵瓶店

冬物荷揃特價大賣出し

大人メリヤス 六拾錢より
ボーイシヤツ 三拾錢より
絹天女足袋 貳拾五錢
ワイシヤツ 壹圓五拾錢
家庭別珍 參拾五錢
毛メリヤス 貳圓五拾錢より
都 壹圓參拾錢

平町一丁目（電話六〇五番）

山家メリヤス店

味の判評

特製天ぶら 五〇、 おかめ 二五、
茶わんむし 三五、 あんかけ 二五、
小田巻むし 三五、 月見 二五、
しつぽこ 三五、 天ぶら 二五、
カレー南ばん 三〇、 もりかけ 一〇、
五もく 三〇、 うむごん 一〇、

天ぶらはすべて特製エビを用ひそ
の他御注文次第届け致します

平町田町（電話一四一番）

數 そ ば

鶴屋商店

四丁目 鶴屋商店ノ

七五三ノ御仕度物ト婦人シヨールノ

大陳列會ガ有リマス

子供マント 子供洋服
子供オーバー 子供帽子

婦人シヨール 黒色 貳圓五拾錢ヨリ

店内ニ種々陳列シテ有リマスカラ是非御覽下サイ

四丁目 ツルヤ

電話百四十番

名持 手拭 特價 提供

御通知次第見本持參の上御伺ひ申します

形代なし（但し三十反以上）
（一週間）御名入手拭の特價染上げを致し升

福島縣平町五丁目 吉田屋染工場
（電話五五八番）
（振替仙台五三二八番）

冬服新荷着

◇新しい品新しい型冬服が澤山揃へました
◇値段は昨年の二割乃至一割半安の下記の通りです

脊廣三ツ組

◇紺黒サージ 1.78圓ヨリ
同 2.67圓マデ
◇メルトン類 1.5圓位ヨリ
同 2.23圓マデ
◇スコッチ類 2.34圓位

詰襟上下組

◇紺黒サージ 1.1圓位ヨリ
同 2.0圓位マデ
◇メルトンラシャ類 14.5圓位

其他種々冬物取揃へました

平町 南町 電話一〇三

なかや洋服店

科外 門 專

入院應需

上田外科醫院

平町 南町
電話一〇三番

炭礦界の好轉は 不況の疲れ休めか 依然通りの緊縮方針

警城の炭礦に於ける昨今の景氣は不況の疲れを休める程度に好轉して來た、これは寒氣に向かつて俄に需要が増加した結果炭價が騰貴したため季節的の好況と見る事が出来る而して之を以て從來の不況に於ける疲れを一掃する事は極めて困難な事であるため各炭礦では

重くなる營業收益稅 平稅務署で手續宣傳

平稅務署では來春一月一日から營業收益稅が實施されるので改正稅法の精神や申告手續等につき誤解のないやう宣傳すべく目下準備中だが收益稅は最低收益四百圓から賦課されその課率は百分の廿八であるから最低では本稅十一圓二十錢となり從來物品販賣業など販賣高二千圓で卸し商ならば六圓

借り受けて 湯本役場に

石城郡湯本町役場は過般出火燒失後元警城炭礦々業部跡の建物を借り受け使用してあるが今回役場の燒失を機會として該地所建物を一萬圓位にて買受け將來町役場として使用するを以て最も相互の利便なりとする向きあるも該建物は持主たる警炭に於て將來運輸部の事務所として使用する意向あるやにて目下の處如何に決定するか明瞭ならず何れ右建物を使用せず他に適所を相し新築移轉をなす等の場合には地所の選定等に關し三大字鼎立の上相當論議さるゝものと觀られてゐる

小賣商 ならば八圓

なる然し一方營業に要する工場などは地租を納付する者は之れを免除する特典もあり更に收益なければ賦課しないのであるから營業の収支を明瞭に記載し置き課税されてから驚かぬやうにしてほしいと

平局郵便年金 平郵 便局に於ける去月中の年金

平局郵便年金 平郵 便局に於ける去月中の年金

大浦役場落成 石城 郡大浦村役場は工費七千五百圓を以て四月上旬から改築中の處今回役場及び倉庫等落成したので來る十九日午前十時から同村警城舞子の濱において祝宴を張る

威張つた泥酔男 女房を血みごろにして 己れも重傷

平町字立町九九日雇人足屋庄次郎(五)は九日午後十時半頃泥酔して家に歸り爐の火に足を突き出し「熱くね」と威張りし爲め女房のキチ(五)に注意を受けし處反つて

平町を横斷 一路浪江町に

陸軍自動車學校の試験行軍として既記の如く五十三輛の自動車は昨日平町に疾走し來り一泊の豫定であつたが都合に依り一日遅れて本日正午頃平町を横斷し宿營せず浪江町に向つたが中には一二台故障車もあり修繕に手間取つた模様である

訓盲院寄附 上原氏其他より

警城訓盲院に對し上原眞佐喜氏より先般の慈善三曲演奏大會の剩餘金四百七十五圓、七色唐辛子少量、橙酢(ユズの皮でもよい)醬油八勺、味素少量、豆腐は賽の目型に切つて置き鰯は頭や腸を取りよく洗つて置



美味い湯豆腐

お寒い時にふさはしいお酒のお肴又はお惣菜にもよろしい湯豆腐を申し上げます。材料は豆腐、新鮮な鰯(其の魚でもよい)十尾、ネギ

神靈感應 現内閣の壽命 其他數々の豫言

川崎本社長と共に政友會の遊説講習を受けた一人に武智徳本と云ふ人がある、此人は東京市牛込區山吹町六九に住居をとし相當の生活を營んで居るが「俺れが逆境を切り抜け今日あるは多年の苦難と闘つて感得する事の出來た神靈感應のお蔭によるものである」と稱して居る丈に此人は占を職とするのではないが其豫言が適中すると云ふので一般か

政界の種々相

不思議がられて居る、此度び十一月卅日に靜觀したといふ政界豫言を本社に寄せられた、解散か否解散か其他時節柄興味が多い問題もあるから一寸おなぐさみ迄に茲に採録する

問「現内の壽命」 答「本年末か來年一月末か 二月中頃議會開會中に總辭職します」 問「政本合同はいつ實現するか」

夫婦氣取り 科料のた灸

平町字南町飲食店雨谷かね方抱酌婦眞木はつえ(三)は馴染客石城郡錦村十勝清(三)假名に身請けされることになり去る二日夜植田町旅館若松屋方へ夫婦と偽稱宿泊し植田署に檢舉八日清は五圓はつねは十圓の科料

親元戀しく 平へ逃げ歸り 驛頭で押らる

山形縣米澤市渡邊春太郎方雇人平町立町村松駒吉の忤秀成(七)は急に親元が戀しくなつて平驛迄の切符を買ひ十日午後十時十二分米澤發の列車に乗り無斷家出したが取押方電話通報に依り十日午前八時廿六分平驛に右列車が到着せる際平子驛取締巡查に取押へられ平署にて保護を加へて居る

募集 文藝其他投稿を募集します

舞金七百圓で此程解決なし 殘る大浦村關係の約十五町歩四十餘名の關係者に亘るものは、四五日中に調停

平町人事 出生

△舊城跡二〇 猪狩忠三郎氏長男正 一 △南町一五 當時石城郡湯本町仲井 檢(一) △久保町三七 當時東京市牛込區辨 天町酒井貞治(三〇)

賠償問題 合計二千餘圓

石城郡四倉町の警城セメント會社に於ける粉末飛散の附近耕作被害は兩者間に折衝中であるが同町内被害水田十五町歩に對しては見

問「本年末にしますか」 答「本年末政變あるか」 問「四五名の閣臣が變るだけですか」 答「内閣の致命傷は松島事件か朴烈事件か」 問「朴烈事件です」 答「次の議會は解散しますか」 答「議會中内閣が更迭するから解散しません」 問「次の内閣は憲政會、政友會、政友本黨、中間、何れですか」 答「政友會です、田中義一氏です」 問「松島事件にて若槻首相は偽證罪成立しますか」 答「成立するが罪にはなり



見よ懸賞映畫

十二月十日替り

血腥き京らくの天地に出没する不知火そは何者? 奇怪幕末大亂戦史

不知火二十篇

不知火の本名不知火にふんする俳優名正解者にキング雑誌一冊人場券を六等級に順じて進呈、住所名記有聲座懸賞映畫係宛

月形龍之助マキノ輝子主演 復讐時代映畫

文明の仇討

マキノプロダクション作品 學生ローマンズ 氣愛卒業と青春卷七 帝キネ 直營 有聲座

正月の御用意には是非今月より傑作揃の新譜 こんみりと 浪花節に音楽 陽氣に 小唄に民謡 おへの宿替に 落語喜劇等 澤山人荷致しました



平町四丁目 電話三六三番

外務社員大募集

一、年齢廿歳以上四十五歳迄 個定給の外賞與多支給す 希望者は履歷書持参午前中左記へ御來訪を乞ふ 平町仲町一四 仁壽生命保險株式會社 平監督所

小兒科一般、内科、皮膚花柳病科(血液検査) 外科、婦人科、耳鼻咽喉科 特設 動脈硬化症及中氣及肩コリ(血壓検査) ◎藥價 大人一日一劑 金十七錢五厘 小人一劑 金十二錢五厘 ◎診察料無料

診療主任 池田次郎 火、金、出張同 河井壽雄

平町實費病院

平町郵便局裏通(電話五五一番)



平の山の手の稱ある胡摩澤の高台 縣社八幡宮裏手の參千餘坪の土地をお貸しします。 春うららかに夏は新緑滴る郊外住宅。秋色たゞよい冬暖やかな郊外住宅。小供の健康によい郊外住宅。附近の重なる建物。八幡宮。中學校。裁判所。小學校。女學校。水道電氣の取附容易 御希望の方は左記へ御來訪下さい 四丁目 マツモトヤ 電話二二四番 百澤商店 電話一二番

第二病室 増設

高久病院

院長 醫學士 高久忠 副院長 新潟醫學士 赤羽清 藥局長 藥劑師 佐竹菊雄 平町田町 電話五二三番

常磐論壇

刊夕日一十月二十

現内閣の正體

代議士 砂田重政 人格者 箕浦氏の覺悟、併し乍ら常識上から考へて見ても、箕浦勝人氏は改進黨以來の元勳であり、憲政會の元老であり、人格者として全國民から認められて來た箕浦氏である、如何に何でも若槻首相の聲明する様に内務大臣が確然たる反對の意志があり、全然關知しないといふものであつたならば箕浦氏が斯の如き大膽な行爲を爲し得るものではない、殊に箕浦氏と政府とが一回の交渉もなく言ひ

特價大品提供

- 一、染紉優等品 一圓十五錢 一、上等友仙モス尺十 五錢 一、キヤラク正花裏地 一圓廿錢 一、伊達巻 五十八錢 一、上等ナフトル友仙尺四錢 ◎其他種々山の如く 豊富に積んであります

合名 會社 野中吳服店 平町三丁目電話七六番

賣れ行きが事實を證明する

品質聲價共に抜群の!!

磐城セメント

磐城セメント會社特約店 和洋銅鐵 釜屋商店 金物問屋 磐城平町五丁目 電話九番 一三九番 ◎良品廉賣は勝る商畧なし ◎確實敏捷は釜屋の生命なり

三丁目聯合

特價大賣出し 各店舉げて特價品の山 一十二月十一日より十八日迄 各店競ふての大々廉賣 此機會に買物は三丁目

玩具 平一丁目

森下商店

糸類 まめ屋

看護婦派出の求めに應ず

平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

種々器具 関内藥局

電話四〇番



常職から考へて居た通りであり世間が想像して居た通りの事が現はれたに過ぎないものではあるまいか、尤も此の問題に對しては曩に若槻總理大臣を初め政府の高官は悉く東京の裁判所の囑託訊問を受けたものであるにも拘はらず、今回突如角南豫審判事が上京して更に其の真相を確める爲めに總ての高官の訊問や直しをやらんと云ふに至つた事は箕浦氏の告訴と關係がどうなつて居るか判らぬ (つづく)

平小鐵道愈よ實現

さの閣議で決定

明年度から着手

商港も近き將來

實現か否か鐵道當局でいろ／＼頭をひねつて居た本縣石城郡の平小名濱間鐵道はいよいよ明年度から實現する事に昨十日の閣議で決定し多年同地方民が望んで居た問題もようやく解決するに至つたが、この結果として今後太平洋沿岸の漁權を握つて居た千葉縣銚子港の繁榮は新興の小名濱漁港に奪はるゝ事となり加ふるに從來汽車便によつて同地方のセメント石炭類はその大部分をこの鐵道により小名濱港から輸出するに至るから同地方民が理想とする小名濱商港の實現も近き將來であらう

當路者に

感謝の電報

本日平町から

平小鐵道實現に關し平町では速成請願委員であつた佐々木龍若、萩原義雄、櫻井清、の三氏が本日前十日役場内に參集し伏見町長の名を以つて井上鐵道、安達逓信の兩大臣を始め佐竹鐵道政務次官、八田事務次官、振旗海軍政務次官(元鐵道次官)中村建設局長の當路者及び速成運動に斡旋の勞を執られた代議士八田宗吉比佐昌平の兩代議士、貴族院方面では宮田光雄、花房子爵の諸氏に夫々感謝の電報を發した

空貨車逆送

荷物が動かぬ

本年も餘す處早二十日に追り年末の氣分は一層濃厚となつたが年末貨物輸送状態

人形愛好者へ!!

人形や玩具に興味を有せられて是れを愛好し以前から蒐集して居た方又はこれから蒐集せようとする方々に御相談致し度い事が御座いますから御氏名を「社内、川崎小鳥」宛に御一報を乞ふ

敷設速進の 穩れた功勞者

馬上孝太郎氏

平小鐵道の敷設請願は白井博之氏が代議士時代に其端を發し同氏は議會に於て敷

小鳥を持ち寄り 交換や即賣する

來る十九日藤田校で

平町藤田女學校校長藤田榮助氏其他小鳥飼養同好者を以つて組織せる平町小鳥の會は來る十九日午前九時より藤田女學校内に總會を催し庶務會計の報告あり晝食懇談の後閉會する筈であるが當日は小鳥を各々持ち寄つて交換即賣等を爲す由にて會員外の參加者も大いに歓迎すべく會費は晝食料として五十錢であつて出品に就いての注意は左記の如くである

△會員は飼鳥の種類を問

子供の罪は親の責任

竹棒で突いた失明事件

結局損害を取らる

石城郡山田村大字下山田字堀の内下山田艶之助の二男耕作(○)が大正十三年十一月廿三日同村字谷沼井鈴木せむの長男直任(○)の爲め

遊戯中

竹棒を以つて左眼を突かれ遂に失明した事件は平町大嶺辯護士が被害者側の代理として加害者の親權者を相手取り昨年六月福島地方裁判所平支部に損害請求の訴を提起し、爾來係争中であつたが子供同志の遊戯中の出來事であるから親の責任はどうかと

疑問視

せられて居た處昨日平支部に於て被害者の親權者は加害者に對し慰料として金五百圓及び

高の減少とも見られてゐるが歳末に入つても鹽木材等が僅動いてゐるばかりで空貨車の處分に困り毎日二三十輛宛仙台又は東京方面に逆送してゐる状態で極めて閑散である」と係員は語つてゐた

御平癒祈願

明日縣社にて

平町愛國婦人會主催にて明日午前十時より縣社子鏡倉神社々頭に一般婦人參集し聖上陛下御平癒の祈願をこむる由

歳末を控へ

石炭代整理

貯炭減少を機會に 意外の好況

下半期に於ける炭界は工業



家庭欄

妊婦ごむくみ

妊娠中の婦人が特に氣をつけないなくてはなりませんのは

足のむくみであります。殊に六ヶ月後になりますます増大した子宮が脈管を壓迫して血行を妨げてむくみを起こします。このむくみの來た時には先づ醫師の所へ行つて尿の検査をして頂く事でありませぬ。それは腎臟炎が犯されてゐることが少なくないからです。妊娠時の腎

ボナ皮切り

平局は十五割

愈々師走も三分の一を經過した至る所のストロブ會議にボナス話の花が咲いて居る矢先之はまた早い一昨九日四千五百圓在中の重い金袋が勢ひよく平郵便局へ到來した熨斗あざやかな賞與の袋は日頃の惠比壽顔に一層目を細へした小松局長さんの手から主事電配迄の一般従業員百五十名へ渡された局長を除いて最高主事の百八十圓から細かい處では十圓もあれば十五圓もあるが平均十五割位の處であ

米 販賣斡旋

非常に好評

平穀物検査所では從來地方産米の向上を期する爲め生産米の検査並に此れが販賣斡旋をなすべく奔走中であつたが愈々今秋産米より實行すべく決定し着々之れが検査と販賣斡旋に着手した検査米は無検査米に比し一圓四十錢乃至一圓六十錢高の好成績であるので一般から非常に好評を以て迎へられてゐる

石城養兔組合

設立の計畫

石城の郡南に於ける山間部

上遠野入遠野地方における兎の飼育数は二萬羽に達してゐるが一羽五百円以上のものは昨年二圓近くに取り引されたものが今年は五十錢内外といふ暴落で郡農會に救済を申込んだので去る一日から本縣の養兔副業組合へ大量取引を斡旋したところ俄かに相場が騰り五百五十円以上は十六割八百円以上は十九割で一羽九十錢から一圓に取引された郡農會では現在のやうに養兔家が仲買人に値段を左右されてゐる弊を防止するため養兔組合を設け加工生産並に大量取引を奨励しようと計畫の歩を進めてゐる